

高校生チャレンジ推進事業



現状・課題

- 県内の高校生が全国規模の大会等に挑戦することを促進し、生徒の可能性を広げるとともに地域活性化に貢献する人材を育成することを目的としている。
- 物価等の上昇等に伴い、生徒の負担も大きくなっていることから、支援の拡充が必要。
- 生徒が大会に挑戦できるような支援を継続していくことが重要。

取組

和歌山から全国へ。「挑戦」から未来を創り出す

● 生徒の全国大会等への参加に係る活動費の補助

- ・遠隔地での大会出場等、生徒の可能性を広げる取組をバックアップし、挑戦の機会を保障します。
- ・全国各地から集まる同じ志を持つ高校生や専門家と交流する機会の創出します。
- ・生徒たちが全国での経験を地元を持ち帰り、地域活性化に貢献できるよう支援します。

● 専門性の高い講師の招へいに係る謝金及び旅費の補助

- ・高度な内容の指導を確保し、生徒の興味・関心の幅を広げる取組を支援します。
- ・生徒が自ら考えたアイデアに対してプロからフィードバックを受けるプロセスをとおして、試行錯誤を通じた「質の高いアウトプット」を創出します。

生徒の活動例

1. 地域からビジネスの最前線へ

地元の特産品を活かした商品開発や、実際に一般のお客さんに販売する活動が行われました。

(神島高等学校：全国高校生SBP交流フェアプレミアステージ)

(紀北農芸高等学校：UME-1フェスタ)



2. 未来の社会を形成する力を身に付ける

全国の高校生等がフィールドワークや意見交換をとおしてエシカル消費の課題解決について考えました。

(串本古座高等学校：とくしま高校生エシカルサミット)

3. 新たな未来を切り拓く職業人としての資質を育む

全国の高校生が、指定された花材・資材・花器を使用し、テーマに基づいて作品を制作しました。

(有田中央高等学校：全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト)

(紀北農芸高等学校：全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト)



寄附金の使途

生徒の全国大会等への参加に係る活動費、専門性の高い講師の招へいに係る費用